

卒業論文

マスメディアによる少年の逸脱行動への影響

九州大学 文学部 人間科学コース 社会学・地域福祉社会学専門分野 (2004年入学)

1枚=40字×30行

要旨

本論文は、長年問題視されてきた、マスメディアによる少年への影響について論じたものである。特に少年の逸脱行動に着目し、マスメディアのどのような影響が生じているのかを、統計の分析や事例分析、質問紙による量的調査の分析を中心に検証することを目的としている。

第1章では、各マスメディアの登場と少年への影響についてどのような指摘がなされてきたかという歴史を紐解き、メディアの影響が長年社会問題となっていることを説明する。その上で、テレビを中心とするマスメディアの少年に対する影響に関する先行研究を方法別に紹介し、それらによって現在提唱されている主な4つの理論を説明した。

第2章では、世論調査や警視庁などの統計をもとに、日本における少年の逸脱行動(非行)の現状を検証している。少年の刑法犯検挙人員は若干減少傾向にあり、近年は凶悪犯、粗暴犯ともに減少しているものの、世論では9割以上が少年による重大な事件が増えていると感じている。また、少年犯罪の凶悪・粗暴化や低年齢化を指摘する声も高く、少年事件に対する関心の高さもうかがえた。刑法犯検挙人員は減少しているが、13歳以下の触法少年については凶悪犯が増加しており、低年齢少年の犯罪の凶悪化が言えることを指摘した。

第3章では、マスメディアとの関連や影響を指摘されている少年事件について個別に分析し、どのようなメディアがどういったかたちで加害少年に影響を与えたのかを論じた。メディアが少年に逸脱行動の手段やきっかけを提供したり、暴力との接触の場を作り出すことで少年の暴力性を高めた可能性があることを言及した。

第4章では、マスメディアの少年への影響を調べるフィールド研究(質問紙調査)を行うにあたりその困難性や先行調査について述べた後、マクロの視点からメディアの影響を調査する方法として、少年自殺の統計分析を行った。2006年10月に少年のいじめによる自殺がメディアで連日大きく取り上げられ社会問題化してから、少年の自殺がそれ以前と比べ増加しているかどうかを検証し、メディアの取り上げ方が少年に及ぼす影響の可能性につ

いて論じた。

第 5 章では、中学生に対して行った質問紙調査をもとに、マスメディアの影響について分析を行った。テレビを大人と一緒に視聴している生徒よりもひとりで視聴している生徒の方が、フィクションの内容を鵜呑みにしてしまう傾向や現実世界と混同させてしまう傾向にあり、大人と一緒に視聴するか、子どもだけで視聴するか、ひとりで視聴するかといった視聴環境がメディアの影響のあり方を左右するのではないかという仮説を支持する結果を得た。

また、逸脱行動など少年にとって不適切なシーンの視聴経験回数(種類)が多いほど、ヒーローの悪役に対する暴力に肯定的であったり、バラエティ番組における暴力に順応していた。また、そのような不適切シーンを見て模倣願望が生じるかどうかを尋ね直接的な影響の有無を調べたところ、全体の 12%に模倣願望がみられた。普段暴力性の高いテレビゲームに接していると模倣願望が生じやすい可能性が考えられることも分かった。逸脱行為の模倣願望というデリケートな問題を質問紙で深く聞くことは出来なかった為、中学生 2 名にインタビュー調査も実施した。最後に、生徒の社会性や暴力性にマスメディア利用が影響を与えている可能性があると考えられるデータもいくつか示した。マスメディアが少年の逸脱行動に何らかの影響を及ぼしていると断定するだけの証拠を提示することは出来なかったが、この仮説を支持すると言えるデータを示すことは出来た。

第 6 章では、マスメディアは少年の逸脱行動に何らかの影響を及ぼしている可能性があるという結果を受け、政府レベルでのメディア規制、マスメディア側の自主的な規制といった対策の現状について述べた。ただし、マスメディアの自主規制には限界があるうえ、法律によって規制することは極めて難しく最後の手段でなければならない。そこで、発信側の規制に頼るだけでなく、受け取る側の少年がメディアの情報を正しく理解し利用しなければならないという観点に移った。日本においては家庭においてメディアと接する際のルールが少ないことを米国の調査データと比較して証明し、少年がメディアの利点のみを享受し、悪影響を受けることのないよう、家庭や学校において十分に話し合い、教育される必要があることを述べた。

目次

はじめに	1
第1章 マスメディアの影響に関する研究と理論	
第1節 マスメディアの悪影響論	2
第2節 メディア暴力の先行研究と理論	4
第2章 現代日本における少年犯罪の実状と世論	10
第3章 マスメディアと関連性のある少年犯罪実例の分析	
第1節 大阪府オヤジ狩り事件	15
第2節 長崎県小6同級生殺害事件	16
第4章 マクロな視点からのマスメディア影響検証	
第1節 マスメディアの影響の検証方法	20
第2節 自殺報道の影響分析	20
第5章 質問紙調査による中学生へのマスメディア影響分析	
第1節 調査の概要	24
第2節 メディアに関する少年の意識と行動	27
第3節 テレビ暴力に対する意識とそれに影響を与える要素	32
第4節 テレビドラマにおけるフィクション性の認識	35
第5節 不適切なシーンの視聴経験と模倣願望	37
第6節 中学担任教師が感じるメディアの影響	40
第7節 メディア利用の少年の行動や意識への影響	42
第6章 メディアの影響からの少年保護	
第1節 政府レベルのメディア規制	47
第2節 メディアの自主規制	49
第3節 規制と教育でつくる少年の健全な育成環境	50
おわりに	56
参考文献	57

付録

調査票・単純集計